



# 議会たより

No.116  
平成29年7月13日

松崎

「富貴野山 宝蔵院の石仏」

## 《主な内容》

### 第2回定例会（6月6日～6月7日）

平成29年度補正予算 他	2
平成28年度企業会計決算	3
議員会町内視察	4
町政を問う 一般質問に4議員	6



the most beautiful  
villages  
in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



# 平成29年6月定例会

平成29年第2回定例会が、6月6日から7日までの2日間で開催されました。

本定例会では、平成29年度補正予算案など9議案について審議を行い、原案どおり可決・認定しました。

## 一般会計補正予算

**補正予算(第1号)**は、歳入歳出それぞれ706万3千円を増額し、補正後の額を34億8706万3千円とした。

**問** 義務教育管理費に、緊急地震速報機器の購入費90万円が計上されているが、どこに設置するか。

**答** 教育委員会事務局長 松崎小と松崎中に緊急地震速報発報端末を設置するもので、いざ地震が起こったときに自動で放送が流れるようにする。この機器には訓練機能も付いており、学校ではこれを活用した避難訓練も行っていく。

**問** 幼稚園は義務教育でないから設置しないのか。

**答** 総務課長 今回は国の補助金を活用するので小中学校への設置となるが、保育園、幼稚園にも必要との意見もあるので、次の補正予算で対応を検討していく。

**問** 地域おこし協力隊事業費のアプリケーションソフト使用料6万8千円とはどういうものか。

**答** 企画観光課長 協力隊員で商品開発を担当している者がいるが、開発した商品を販売する際の商品パッケージをデザインするために必要なソフトを購入するもの。「ふれあいとーふや。」において、町民の方も利用で

きるようにしていく。

**問** 交流拠点施設利用促進業務委託40万9千円の内容は。

**答** 企画観光課長 寄付を受けた浜丁橋前の依田家を活用していくうえで、補修が必要な個所の把握と耐震状況などを調査するもの。昨年整備した「ふれあいとーふや。」についても耐震診断を行う。

**答** 町長 依田家は、なまこ壁の蔵や離れの茶室もあり、それなりに活用できると思うので、調査の結果、どれくらいの費用がかかるかわからないが、使えるようにしたいと思っています。



寄付を受けた依田家 (南区)

## 条例の制定・改正

にも掲載し、この制度が有効活用されるようにしていきたい。

◎松崎町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定

半島振興地域において、製造業、旅館業、情報サービス業、農林水産物等販売業の設備を新設又は増設した事業者について固定資産税の特例を定めるもの。

青色申告事業者で資産の取得価格などが基準に適合している場合は、3年間に限り固定資産税の税率が軽減されるもので、平成29年4月1日以降に取得した資産が対象となる。

**問** この条例をどのように広報していくのか。

**答** 企画観光課長 制度周知については、商工会・観光協会関係の事業所については直接文書でお知らせするほか、広報まつぎきを活用する。また、町外からも見てもらえるようにホームページ

◎松崎町過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定

過疎地域において、製造業、旅館業、農林水産物等販売業の設備を新設又は増設した事業者について固定資産税の特例を定めるもの。

資産の取得価格は2700万円以上が対象で3年間課税免除となる。なお、両条例により固定資産税が減収となった分については、75%が交付税で補てんされる。

◎松崎町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の賦課限度額を国の法定賦課限度額に合わせるもの。世帯当たり最高81万円であったものを89万円に改正するもので、平成29年度分より適用される。

## 平成28年度 企業会計決算

決算の概要は、広報まつざき7月号をご覧ください。

### 水道事業

**問** 人口減少が著しいが、離れた場所で町の水道を使っている方が1戸だけになっても給水は確保するののか。

**答** 生活環境課長 現在、給水している場所については、継続して給水を確保していく。

**問** 給水人口、給水戸数はこれからも減っていく。独立した水道会計で賄うことは厳しくなるのでは。

**答** 生活環境課長 過去10年間の推移を見ると、給水人口は約1300人減少している。また、観光交流客数も4割近く減っている。

水道事業については、水道料金の収入減が予想

される一方で、水道施設の更新時期の到来による多額の資金投資も見込まれることから、平成30年度において今後10年間の経営戦略を策定する。

給水人口減を見据えた中で財政計画を立てていくが、水道事業については独立採算が原則であり、一般会計からの繰り入れを行わないで会計が成り立つよう心掛けていく。

### 温泉事業

**問** 過年度未収金が11名で600万円余りあるが、前年度と比べて増えているののか。

**答** 生活環境課長 過年度未収金の決算額は前年とほぼ変わっていない。

滞納額の多い方が2名おり、全体の約85%を占めている。1名については毎月入金されているが、もう1名については納付がない。

**問** 入金のない方への今後の対応は。

**答** 生活環境課長 入金のない1名については給湯を停止しているが、住所もわかっているため、引き続き納付を交渉していく。

**問** 電力のインバータ化で電気料が軽減されているが、他にもインバータ化の計画はあるののか。

**答** 生活環境課長 今回、第1・第2配湯所のインバータ化を実施したが、今回の改良で終了となる。

### まつざき荘事業

**問** 色々な割引プランを行ってきたが、宿泊客が増えた一番の要因は何か。

**答** 企画観光課長 宿泊プランは全部で25プランあるが、一番利用者が多いプランは町民割引プランで、2413名の利用があった。前年度に比べると約500人増えている。こういった営業プランがお客様に浸透してきたと思う。

と思う。

**問** 日帰り入浴の利用者が480人減った原因は何か。

**答** 企画観光課長 一昨年、かじかの湯が修繕工事のため長期休業をした。

昨年は修繕が完了し、年間営業できたので、かじかの湯を利用できない人がまつざき荘を利用して、その方たちが、かじかの湯に戻ったのではと分析している。

**問** 宿泊客のリピーター比率は。

**答** 企画観光課長 平成28年度のリピーター率は46・8%。宿泊利用者数では1万825人がリピーターであった。前年度は46・1%で少し増加している。

**問** 旅行者者に対してリベートを支払っていると聞いているが、売り上げに対してリベート率はどれくらいなのか。

**答** 企画観光課長 ゆこゆこという業者が26%が一番大きい。じゃらん、楽天は10〜8%。それぞれ

それぞれ

れの旅行者者により手数料は異なるが、大きいところではこの3社となっている。

**問** リピーターが46・8%とたいへん底力があるが、建替えから10年経ってもロビーの雰囲気は何も変わらない。松崎らしさを出すような工夫はできないか。

**答** 町長 町民に愛される宿を目指してきた。町民の紹介から多くのお客さんが来てくれて黒字となり、やっとスタートラインに着いた感じ。議員ご指摘の点については内部で検討していきたい。



伊豆まつざき荘（ロビーの様子）



# 議員会町内視察 ～昨年度の工事内容をチェック～

5月24日、議員会は、平成28年度に施工された工事箇所の中から8カ所を選定し、現場視察を実施した。また、寄付を受けた山田邸についても現地確認を行った。主なものは次のとおり。

## ◎コミュニティポケットパーク足湯整備工事 (中区)

(工事費1194万円)  
観光客の休憩スポット、地域の人たちの憩いの場として整備された。商店街の活性化にも期待されるが、管理方法があらゆるため早急に管理方法を決定し、適切な維持管理に努められたい。  
なお、屋根の設置や案内板、簡易更衣室の整備についても必要と思われるので、管理方法と併せて検討をお願いしたい。



コミュニティポケットパーク (新浜通り)

## ◎桜田児童遊園遊具設置工事

(工事費1145万円)  
桜田区が整備している児童遊園にブランコと滑り台を整備したものの。事故のないよう定期的な点検に努められたい。また、土ぼこり対策などを地区が実施する場合は、町としても協力すべきと思う。

## ◎町道峰輪7号線拡幅工事 (第2工区)

(工事費502万円)  
下田警察署松崎分庁舎が旧中川小学校跡地に移転するについて進入路の拡幅整備を行っていているものであるが、今回の工事のほかに関連する工事等を含めると総額2770万円余りが見込まれる。警察署移転のための工事であり、県の負担があってもよいのではないかと。



町道峰輪7号線拡幅現場

## ◎町道石部線舗装補修工事

(工事費11578万円)  
現状がコンクリート舗

装で、路面の状態が悪かったことから舗装補修を実施しているもので、28年度は340mの区間を施工した。国の社会資本整備総合交付金を活用して1200mを改修する計画であるが、交付金の配分が少なくなってきたおり、予定どおりに進まないことが予想される。  
交付金だけでなく過疎債を活用するなどして、早期に全線が完了するよう努力願いたい。

## ◎水道橋架替工事 (橋梁基礎工・道部)

(工事費5227万円)  
設置から85年が経過し、塩害による腐食もひどく、橋梁長寿命化修繕計画において架替が適当と判定されたことから橋の架替事業に着手したものの。28年度は基礎部分を施工し、29年度において橋梁架設を施工中で、7月中の完成を見込んでいます。  
長期間の通行止めによ



水道橋架替工事現場

## ◎松崎町立幼稚園建設工事 (野田)

(総事業費3億472万円)  
幼稚園の一園化により津波浸水区域外の旧岩科小学校敷地内に新園舎を建設したもの。外壁にそのまま壁を取り入れるなど

## 議員会町内視察・賛否状況一覧

松崎町の特徴が表現されている。  
 なお、使用した唐松の集成材から松脂が浸み出し、遊戯室の床や内壁を汚しているが、1年間の保証期間だけではなく長期に様子を見て、施工業者によるメンテナンスを要求していく必要があるのではないかと。また、砂ぼこり対策として運動場を芝生化するなど、今後についても必要な整備に努め、良好な教育環境の維持に努めていただきたい。



新築された松崎町立幼稚園（遊戯室）



寄付を受けた山田邸

山田邸を視察  
 防災施設として活用していただきたいとの申し出により寄付を受けた山田邸（宮内）について施設の状況を確認した。  
 建物は寄付を受けた時のままで、敷地内には防災倉庫が設置されていた。今回寄付を受けた山田邸のように、今後も町に対し購入を求めたり、寄付を申し出るケースが増えてくるのが予想されるが、利用計画がないまま、とりあえず買って置く、もらっておくという考え方はせず、事前に十分な検討が必要である。

## 第2回臨時会・第2回定例会の賛否状況一覧

件名 / 議員		伴高志	渡辺文彦	長嶋精一	福本栄一郎	佐藤作行	藤井要	稲葉昭宏
第2回臨時会	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（松崎町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例会	松崎町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度松崎町一般会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	

# 町政を問う

問

旧依田邸との契約内容は

答

方針決定までは連携対応



藤井 要 議員

**問** 旧依田邸は29年3月に町に所有権が移ってからもNPO伊豆学研究会が使用しているが、使用契約等はどのようになっているのか。また、古い車2台が放置されたままだが、町はどんな対応をしているのか。

**答** (町長)

伊豆学研究会と覚書を交わし、町の運営方針が決定し、事業着手までの間は町と連携して管理を行うこととするが、管理

**問** 寄付建物の利用策は

**答** 仮移住や学生利用に

**問** なまこ壁を用いた浜丁橋前の依田家、宮内円通寺前の山田邸など建物

の寄付があったが、町はこれらの資産をどのように活用していくのか。

**答** (町長)

依田家については、母屋・茶室・蔵の3棟があり、町歩き観光を推進するうえで重要な場所である。民間の力を活用した事業展開や移住定住のお試し住宅など、さまざまな利活用を検討したい。

山田邸は災害時での避難場所や企業や大学などの宿泊利用に活用できないか検討している。

**問** 廃校となった小学校や幼稚園の空き教室の利用について、町内でのサークル活動の場所や若い芸術家のアトリエとしての利用等で、町の活性化が図られると考えるが。

**答** (町長)

中川・岩科の校舎はイベントや防災資材の保管場所として利用している。

旧松崎幼稚園は改修し児童館として利用するが、中川・岩科・三浦の園舎

は未定である。下田土木事務所も中川地区に移転したいとの打診もあるの

で、公共施設配置検討委員会で調整していく。

**問** 調理場建設計画は

**答** 改修対応も検討

**問** 伏倉町営住宅跡地に建設予定の共同調理場は地質調査も済んでいるが、その後の事業展開が見え

てこない。計画等に変更が出ているのか。

**答** (町長)

調理場は35年余りが経過し、津波浸水区域から外れた伏倉の町有地が適地との答申により計画したが、土砂災害警戒区域における防災対策等で5億円余りが必要なことから、現有の共同調理場の改修で対応できないかも検討しているところである。



共同調理場



## 問 町の人口をいかに増やすか

## 答 産業の活性化を図って



渡辺 文彦 議員

**問** 町長在任8年を経るが、その間に約8千人の人口は、28年度には7千人を割り込み、年平均150人減少している。この現状をどのように認識しているか。

**答** (町長) 第5次総合計画スタート時、最終目標を7千人堅持としたが、計画の2分の1の期間のうちに目標を割り込み残念だ。人口減は、松崎だけでなく、日本全国で起こ

たか。  
**答** (企画観光課長) 会議で出された2つの意見を報告します。1点目は、海を生業・産業として活かす戦略が欠けているのではないかと。2点目は、観光対策の中で、インバウンドの対策・対応が不十分ではないかと、この指摘があった。

なお、インバウンド対策としては、QRコードを用いた他言語翻訳システムを29年度に導入することで現在進めている。

ている問題で対応が難しい。  
私は、全町まるごとふる里自然体験学校等を通じて対応したが、成果が上がってこない。しかし、町としてはそれなりに一生懸命にやってきました。

**問** 総合戦略の評価について「日本で最も美しい村推進委員会」にて、28年度の検証がされているはずだが、そこで出た意見はどのようなものであ

**問** 人口ビジョンは、都会から人を呼び戻し地方の人口を増やす政策でもあるが、地方にはその受け皿となる雇用の場が少ない。いかにして雇用の場を作るのか。

**答** (総務課長) 例えば、子育て支援対策で、子供の保育時間を延長すれば、父母の通勤圏が広がり、町外にも働きに行けるし、今後、道路の整備が進めばその可

能性は広がる。  
また、桜葉振興などひとつひとつ大事に掘り下げ、町全体で産業の活性化が図られればよい。

## 問 なまこ壁建造物の活用は

## 答 実現可能な事業より対応

**問** 町はなまこ壁の文化を地域資源としているが今後の活用方法は。

**答** (町長) 地方創生加速化交付金を活用し、「美の漆喰文化を育むまちづくり事業」にて建造物の実態調査、利活用について考えた。今後、中瀬邸、伊豆文邸、旧依田邸をモデルに実現可能な事業から取り組み活用を図りたい。



明治商家中瀬邸

問 ごみ処理場の共同化は

答 1市2町で協議進める



伴 高志 議員



クリーンピア松崎

の一つとして協議しているところである。

問 1市3町共同化経緯は

答 西伊豆町は参加見送り

問 1市3町共同化の経緯は。西伊豆町が抜けた理由は何か。西伊豆町はごみが足りないと言っているがどうか。

答（町長）

近隣市町においても、施設の老朽化が進み、維持管理費や改修費が増加する中で、広域化に向けて検討すべく、平成26年12月に1市3町で勉強会を立ち上げ、広域ごみ処理施設整備を進めていく上での課題・問題点等を検討してきた。

西伊豆町は当初、勉強会に参加していたが、平成28年8月下旬に、今回の広域処理事業への参加を見送ることとなった。理由は明確にされていない。ごみ排出量については

松崎町においても西伊豆町同様、相対的には減少傾向にある。

問 1市2町からの離脱は

答 選択肢にはない

問 今後、1市2町で進めて、途中で松崎町が抜ける余地はあるか。

答（町長）

現行施設の延長期限内での整備が可能となるよう、関係市町と協議を重ねていく。離脱については、選択肢として考えていない。

問 改めて再検討し、西伊豆町を含めた広域化は考えられないか。

答（生活環境課長）

理由は明確にされていないが、西伊豆町は施設がまだまだ使えるので、広域化ではなく自前で進んでいきたい意向のようだ。

問 本年度予算に盛り込まれた1市2町での整備構想では南伊豆町の湊が候補地として挙げられているが、松崎町は距離が遠く峠を越えるという地形を毎日走るのとは不合理ではないか。

答（町長）

ごみ処理の広域化のメリットとしては、建設費、運転費及び施設維持管理費の軽減、長時間運転によるダイオキシン発生抑制等が挙げられる。

一方、デメリットとして運搬コストの増加等が挙げられるが、今後の施設整備運営にかかる財政負担等を総合的に考えると、なるべく大きな枠組みの中で、広域的な検討をしていくことが、最良の選択肢であると考ええる。

なお、今年度基本構想及び地域計画を策定する中で、事業用地の基本条件の整理をしていくが、現在1市2町で協議を進めている中で、南伊豆町の現施設の場所を候補地



## 問 松崎高校の存続は

## 答 魅力化と価値を高める



福本栄一郎 議員

**問** 児童、生徒の減少に加え他校への受験等により、松崎高校の入学者数が定員割れの状態となっている。

地元高校の存続が危惧される中、中高一貫教育や西豆地域教育研究協議会ではどのような対策が講じられているのか。

**答** (町長)

平成29年度の入学者数は、101人で募集定員の120人を大きく下回っており、この状態が何年

も続いている。

今後、少子化に伴い更なる入学者の減少が見込まれ、議員ご心配の通り存続が心配される。

平成20年度から「西豆の子は西豆で育てる」を合言葉に、高校と西豆3中学校との間で連携型中高一貫教育を進め、西豆学や各種スポーツ教室、交流授業・授業研究会等を実施している。

学校の魅力化と価値を高め、地元高校の存続に

向け努力していきたい。

**問** 1市5町で構成されている賀茂地域広域連携会議では、高校の統廃合の問題は提起されているのか。

**答** (町長)

本年2月に策定された「賀茂地域教育振興方針」の中では、統廃合の問題は提起されていない。

広域連携会議の本年度の取り組みとして、高校の魅力化を図るため学校、PTA、役場、教育委員会等からなる協議会の設置を検討している。

## 問 町内の医療体制は

## 答 24時間無料の電話相談

**問** 現在、町内には2つの医院しかなく、平時及び災害時の医療体制の弱体化が心配される。

町民の安心・安全な暮らしを維持するため、どのような対策を講じているのか。

**答** (町長)

ご指摘のとおり、町内には2つの医院しかなく、休診となる土日や祝日、夜間といった場合には賀茂医師会に委託して輪番制による医療体制に頼っているのが現状である。

町独自の取り組みとして、24時間無料の電話医療相談を行い、町が委託した業者の専門医が対応しているが、年間120件ほどの相談が寄せられている。

## 問 空き家情報バンクは

## 答 登録件数は少ない

**問** 平成25年度から実施されている空き家情報バンク制度の利用状況は。

**答** (町長)

空き家の有効活用と定住促進による地域の活性化を図ることを目的に制度化され、現在5件の空き家が登録されている。また、情報バンク利用者登録をしている人は24名となっている。



松崎高校の将来は

9月定例会のお知らせ

次の定例会は、9月5日(火)からの予定です。

## 議会のうごき

### 4月

- 12日 広報編集委員会
- 19日 広報編集委員会
- 27日 議会だより115号発行

### 5月

- 1日 第2回臨時会
- 10日 西豆自治会総会
- 18日 議会だより臨時号発行
- 22日 賀茂郡町議会議長会総会・議長会議 (南伊豆町)
- 24日 議員会町内視察
- 30日 議会運営委員会・広報編集委員会・議会全員協議会
- 31日 全国町村議会正副議長研修会 (東京都)

### 6月

- 1日 静岡県地方議会連絡協議会総会・研修会 (静岡市)
- 6～7日 第2回定例会

表紙の写真「富貴野山 宝蔵院の石仏」は文化協会写真部より提供していただきました。

- |       |    |      |
|-------|----|------|
| 発行責任者 | 議長 | 土屋清武 |
| 編集委員長 | 藤井 | 要    |
| 編集委員  | 伴  | 高志   |
|       | 長嶋 | 精一   |
|       | 佐藤 | 作行   |
|       | 稲葉 | 昭宏   |
|       | 福本 | 栄一郎  |
|       | 渡辺 | 文彦   |



この人に  
聞きました⑬  
松崎高校生徒会執行部  
関 亮太さん、土屋大智さん  
関愛珠果さん、土屋謙豪さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎高校生徒会執行部の皆さんにお話を伺いました。町の活性化のために、やってもらいたいことはありますか。

商店街のシャッターがよく閉まっているので、そこら辺を賑やかにして観光客を増やしてもらいたいです。

花畑の花が毎年一緒なので、種類を変えたり、イベント・出店を増やすなりしてもらいたいです。

自分が町長になったらやってみたいことはありますか。

自然が魅力的なので、パンフレットに載っていないような山の中のきれいな場所を紹介したい。観光する中で、歩くだけでなく寄って遊べるアスレチックのようなものを作りたいです。遊べる場所を増やすことで、家族連れで来て頂いた観光客の方にもっと楽しんでもらえる。町民もそこで遊べるので、町内の活性化にも繋がると思う。

行政や議会に対して何か思うことはありますか。

議会は、私たち高校生からしたらあまり馴染みのないものかと思います。どんな議案が出た、結果がどうなったっていうのをもっとアピールしてもらいたい。

小中学生・高校生の声を聞いてもらう機会がないので、そういう機会が増えたら、学生が何を求めているのかが分かると思うので、町民の声・若者の声を聞く場を作ってもらいたい。

(聞き手 編集委員長)

## 海鳴り

今定例会に、平成28年度伊豆まつざき荘事業会計の決算認定議案が上程された。

伊豆まつざき荘は7年間赤字経営が続いていた中で、昨年9月定例会において、引き続き5年間、振興公社に指定管理させることを議会として承認していたこともあり、今回の決算には注目していたところである。

これまで建設資金の借り換えや、職員OB(国民宿舎当時の総支配人)による職員指導の他、町民割引プランなど25プランを設定し、経営改善、集客に努力してきた。この結果、リピーターも増え、宿泊利用率46・3%、95万4千円の黒字決算に転換することができた。

今回の結果に気を緩めることなく、引き続き職員一丸となって経営に努力されることを期待したい。(議長)